ほどはら通信 令和8年11月号

発行 ／ 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほどはら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL／fax 024-575-4355

11月の主な行事

１１月６日（金）１０月分工賃支給日
１４日（土）土曜利用日
１１月９日（月）～１４日（土）秋のほどはら花市ウイーク
２０日（金）社会見学

あぶくま祭にぎわう！



利用者さんと保護者さんがいっしょにコーラス



開会のことばを述べる利用者さん



あいさつする中木理事長



上中瀬町内会会長様からあいさつをいただく

１０月２５日、両施設の利用者、保護者、職員、上中瀬町内会の会員が一堂に会し、あぶくま祭を開きました。今年も、コロナウイルス感染症などの心配もありましたが、段階的に緩和していくなかで、会員としてお世話になっている上中瀬町内会皆さんの参加も募り行いました。当日は台風３０号の影響で雨が降りそうな天候でしたが、曇り空の下で行うことができました。朝から多くの皆さんに集まっていただき、開会式が行われ、開会のことばをほどはら授産所から髙橋友美さん、だての郷から菊地晴美さんが「これからあぶくま祭を始めます」と述べました。続いて、中木理事長、ほどはら授産所保護者会髙橋会長、だての郷保護者会谷津会長の主催者あいさつがあり、上中瀬町内会会長様からもあいさつをいただきました。そのあと、全員でラジオ体操を行い、さっそく第１部ダンスと合唱の発表が始まりました。



日ごろの歌を披露したほどはら授産所の皆さん

初めにだての郷の皆さんの発表です。ダンス教室の佐藤香先生といっしょに MILK の「好きすぎて滅！」を踊りました。毎月行っているダンス練習の成果が発表されました。つづいてサザエさんのテーマをみんなで大きな声で歌いました。保護者の皆さんも一緒に歌ったり、手拍子をしていただき、会場からは大きな拍手をいただきました。

ほどはら授産所の発表では、毎週水曜日の朝の会で日頃歌っている楽曲の発表があり、保護者の皆さんにも加わっていただき、「♫まっかな秋」、「♫手のひらを太陽に」を歌い、「♫もみじ」を歌い、最後に利用者の佐々木仁志さんのピアノ伴奏で、「♫四季の歌」を歌いました。こちらも大きな拍手をいただきました。



ピアノ伴奏をする佐々木利用者





スポーツレクリエーションのフライングディスクと輪投げを体験する利用者さん



スポーツレクリエーションのボッチャを体験する利用者さん



スポーツレクリエーション MVP の皆さんを表彰



閉会のことばを述べる利用者さん代表

第２部と３部は同時進行で、スポーツレクリエーションとほどはら授産所の製品販売会を行いました。

スポーツレクリエーション体験では、ボッチャ、輪投げ、フライングディスク２種目を行いました。各コーナーとも長蛇の列ができるほど多くの皆さんが体験していました。授産品販売コーナーでは、ほどはら授産所の農耕園芸班の花苗やトイレットペーパーなどの販売を行い、こちらも多くの皆さんにお買い求めいただきました。

祭の閉会式では、レクリエーション体験の表彰式があり、各種目の MVP の皆さんに賞品が贈られました。その後、閉会のことばをほどはら授産所から吉田雅哉さん、だての郷から尾崎隆信さんが「これであぶくま祭を終わります。ありがとうございました。」と述べました。

皆様のご協力により無事終了しました。

合同避難訓練を行う



消防車両をバックに記念撮影「ハイポーズ！」









水消火器を使って初期消火訓練をしました。

１０月１５日午後、ほどはら授産所とだての郷の利用者、職員が参加し、合同避難訓練を行いました。当日は、だての郷厨房から出火した想定で、だての郷職員による１１９番通報訓練、両施設から利用者と職員が外の安全な場所へ避難する訓練を行いました。ほどはら授産所では施設への延焼の恐れがあるため、全員玄関前に避難し、佐藤所長から落ち着いて避難ができて良かったと講評がありました。この避難訓練に伊達地方消防組合署員が立ち合い、訓練の様子をみていただきました。

各施設の避難訓練終了後、両施設の利用者さんたちがバス車庫前に集合し、消防組合署員の講話をいただき、初期消火に役立つ消火器の使い方や、薬剤が出る１５秒間で火の勢いがおさまらない時は１１９番消防通報することと、火事を起こさないよう火の取り扱いに注意することが大事だということを教えていただきました。

実技では消防組合署員が説明しながら水消火器の使い方を説明した後、両施設から職員と利用者さんが実際に水消火器を使い、初期消火訓練を行いました。

最後に消防組合署員から訓練全体の講評をいただき、佐藤所長から御礼の言葉があり、無事両施設合同避難訓練を終了しました。

１０月生まれ誕生会開く



誕生月を迎えた菅野カツヨさんと大橋治子さん㊨

１０月２日に、１０月生まれ利用者さんの誕生会を開きました。今回は、菅野カツヨさんと大橋治子さんが主賓です。午後の仕事を終えた後、食堂休憩室に集まり、初めにみんなで♫ハッピーバースデーを歌って誕生者を祝いました。続いて佐藤所長から生まれた年やその月の出来事などを交えて誕生者を紹介し、「誕生日は産んでくれたご両親に感謝する日です。一年に一度、自分の生まれた日を記念する大事な日です。おめでとうございます」とお祝いの言葉がありました。誕生者からは、これからの抱負が述べられ、氏家弦希さんが乾杯の発声を行い、みんなでケーキと飲み物をいただき、二人を祝いました。

十三夜のお月見会楽しむ！



団子をいただく利用者さんたち（上下）



十三夜の月の出にあわせて「♫月」を歌いました



１０月２３日、先月の中秋の名月お月見会に続いて、十三夜のお月見会を開きました。この日は旧暦９月１３日のお月見で、中秋の月だけのお月見では「片見月」と言って昔から縁起が悪く、災いが起こると言い伝えられており、縁起を担ぎ両方見るよう「十三夜のお月見会」を開きました。

佐藤所長から十三夜のお月見のお話を聞いたあと、利用者の皆さんで十三夜のお月様が上がるのにあわせて「♫月」を歌いました。月が上がったところで、みんなで団子と飲み物をいただき、張り子の十三夜の月を見ながらお月見を楽しみました。

お月見は夜の催しですが、季節の行事を体験していただきたく、帰りの会の前の時間を利用して行いました。利用者の皆さんは美味しそうに団子を食べ、楽しく過ごしていました。